

国際交流員オギー通信

Сайн байна уу
サインバイノー!
(モンゴル語で「こんにちは」)

馬頭琴

馬頭琴と言えば、「モンゴルの草原で暮らす羊飼いの少年が、殺されてしまった大好きな白馬の骨や皮や毛などを使って楽器を作った」という内容の「スーホの白い馬」民話を思い出す人が多いと思います。日本の小学校の教科書に載り、多くの日本人に知られていることは有難い



のですが、実は「スーホの白い馬」の話を、日本に来て初めて聞いたというモンゴル国籍の人が多くいます。

モンゴル国籍を持つ人は300万人しかいないのですが、世界中にいるモンゴル族を含めると1千万人に上ります。馬頭琴伝説はその部族によって少しずつ違います。日本でよく知られている「スーホの白い馬」は、中国の民族自治区となる内モンゴルのシレーンゴル地域から誕生した伝説です。今回は、私の故郷であるモンゴル国で言い伝えられてきた「馬頭琴誕生伝説」をご紹介します。

▶馬頭琴を演奏しているようす



「フフー・ナムジル」

モンゴルにはフフー・ナムジルという青年がいました。遠くに住む恋人が「明るい時間は普通の黒い馬だが、夜中になると翼が生える」ジョノン・ハルという美しい馬をフフーに渡しました。彼は毎晩、大好きなジョノン・ハルに乗り、遠くに住む恋人に会いに行き、夜明けに帰って来ました。

フフーのことが好きなもう一人の女性がいましたが、フフーが毎晩、遠くに住む恋人に会いに行っていることをその女性が知ってしまいました。女性は怒って、ジョノン・ハルの翼を切ってしまいました。翼を切られたジョノン・ハルは死んでしまいました。大好きな馬を失ったフフーは、馬の骨や皮や毛などで作った楽器を弾き、「ジョノン・ハルに乗って恋人に会いに行っていた幸せと、馬を失い恋人に会えなくなった悲しさ」を思いながら、歌を歌いました。

これは、世界無形文化遺産に登録された長い歴史を持つモンゴル民族を代表する「馬頭琴」の伝説です。

今月のモンゴル語 морин хуур (モリン・ホール)：馬頭琴
хуурдах (フルダフ)：弾く
аялгуу (アヤルグ)：曲



◀国際交流員のオギー

市民公益活動団体紹介

市民のみなさんが積極的にボランティア活動やNPO活動に取り組むことができるよう、市に登録された市民公益活動団体の情報を掲載しています。

問合せ 市民協働課

一般財団法人 航空振興財団 関西航空少年団

関西国際空港を拠点に、航空界をめざす少年少女のために、航空振興財団・航空少年団本部が制定した組織および事業綱領に基づき、空港を有する地域の次世代を担うべき少年少女を対象に、航空宇宙に関する知識と技術の修得と、団体活動を通して心身の練磨と徳性のかん養をはかり、航空界を始めとする社会の各分野における有為な人材の育成に資することを目的としています。

※航空に関心のあるボランティアスタッフを随時募集しています。

【新団員募集】

主な活動

- 航空宇宙に関する知識や技術を学ぶ
 - 団体活動を通して心身を鍛える
 - 道徳心と奉仕する精神を養い育てる
- 対象 新小学4年生～新中学1年生
募集人数 15人(申込多数の場合は抽選)
活動費用

- 入団費4,000円(制服購入代金)
- 年間団費12,000円(教材・保険・活動費)

申込締切 3月10日(土)

申込・問合せ 澤原

(ホームページ: <http://sfakansai.web.fc2.com/> フェイスブック: <https://www.facebook.com/sfakansai/>)



▲茶道体験



▲セスナ機体験



▲グライダー体験

※市民公益活動団体については、市のホームページ(<http://www.city.izumisano.lg.jp/>)をご覧ください。